

「都市の低炭素化の促進に関する法律」案

国交省・環境省・経産省共管
平成24年2月28日閣議決定

● 民間等の低炭素建築物の認定

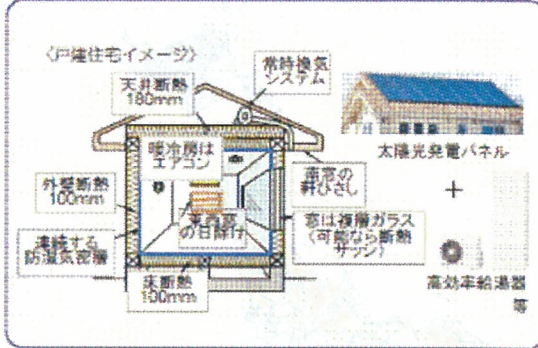
【認定低炭素住宅に係る所得税等の軽減】

居住年	所得税最大減税額 引き上げ(10年間)		登録免許税率 引き下げ
H24年	400万円 (一般300万円)	保存 登記	0.1% (一般0.15%)
H25年	300万円 (一般200万円)	移転 登記	0.1% (一般0.3%)

【容積率の不算入】

低炭素化に資する設備(蓄電池、蓄熱槽等)について通常の建築物の床面積を超える部分

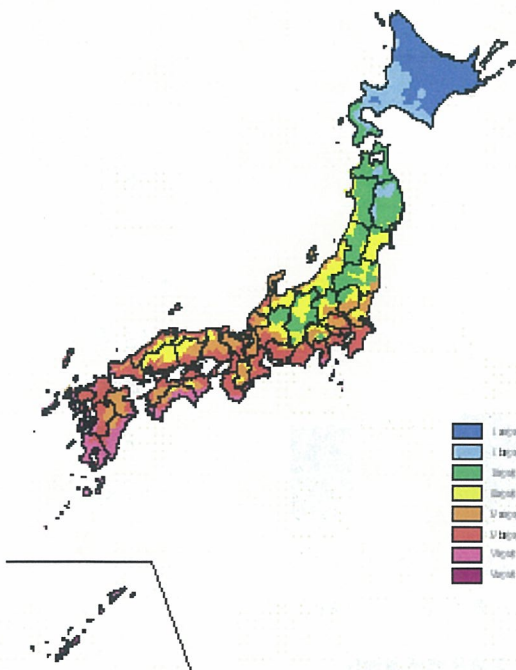
【認定のイメージ】



- 住宅の低炭素化・省エネとは・・・？
- 宮古島で、快適＋省エネに暮らせる住まいとは・・・？

すまいの省エネ・低炭素化・・・住宅省エネルギー基準

地域区分



要求断熱性能

表中の値はグラスウール16Kを使用時の厚さ[mm]

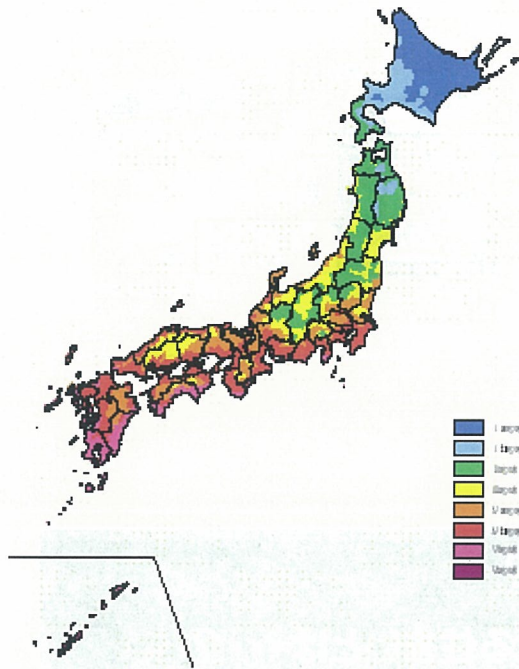
地域	床	壁	天井	窓
I	150	150	300	低放射複層G 樹脂サッシ
II	150	150	200	低放射複層G 樹脂サッシ
III	100	100	200	複層G 断熱金属枠
IV V	100	100	200	複層G アルミサッシ
VI	—	100	200	複層G アルミサッシ

6つの地域区分に分けて基準化

要求断熱性能は、床を除いて温暖地と同じ

すまいの省エネ・低炭素化・・・住宅省エネルギー基準

地域区分



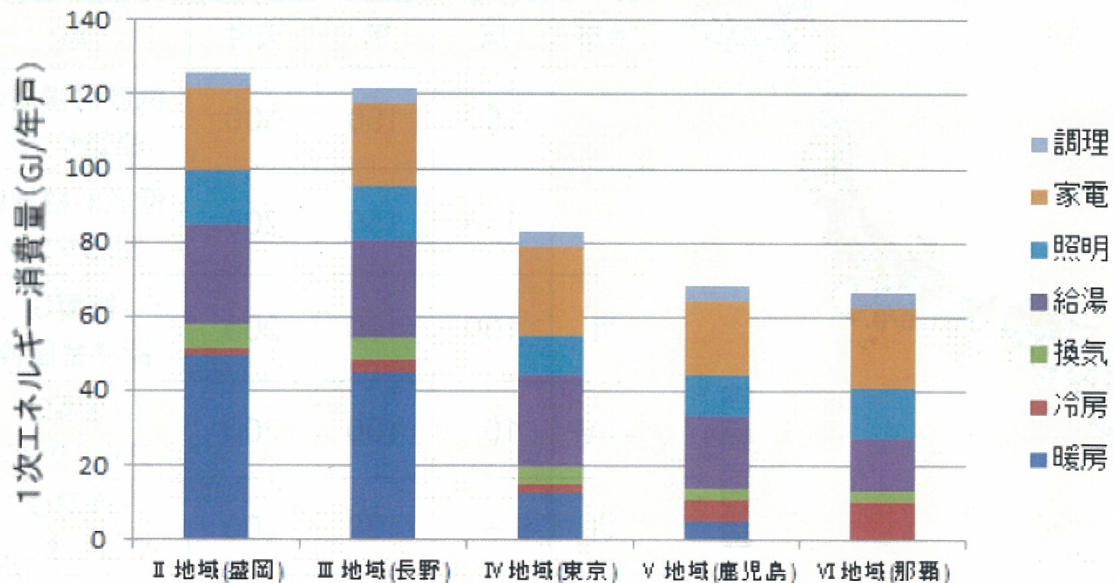
要求遮熱性能

地域	壁	屋根	窓
I	—	—	特に不要
II	—	—	特に不要
III	—	—	レースカーテン相当
IV V	—	—	レースカーテン相当
VI	—	—	レースカーテン+庇 相当 or 遮熱ガラス

要求遮熱性能は、温暖地より強化

日本各地の住宅エネルギー消費量の推定

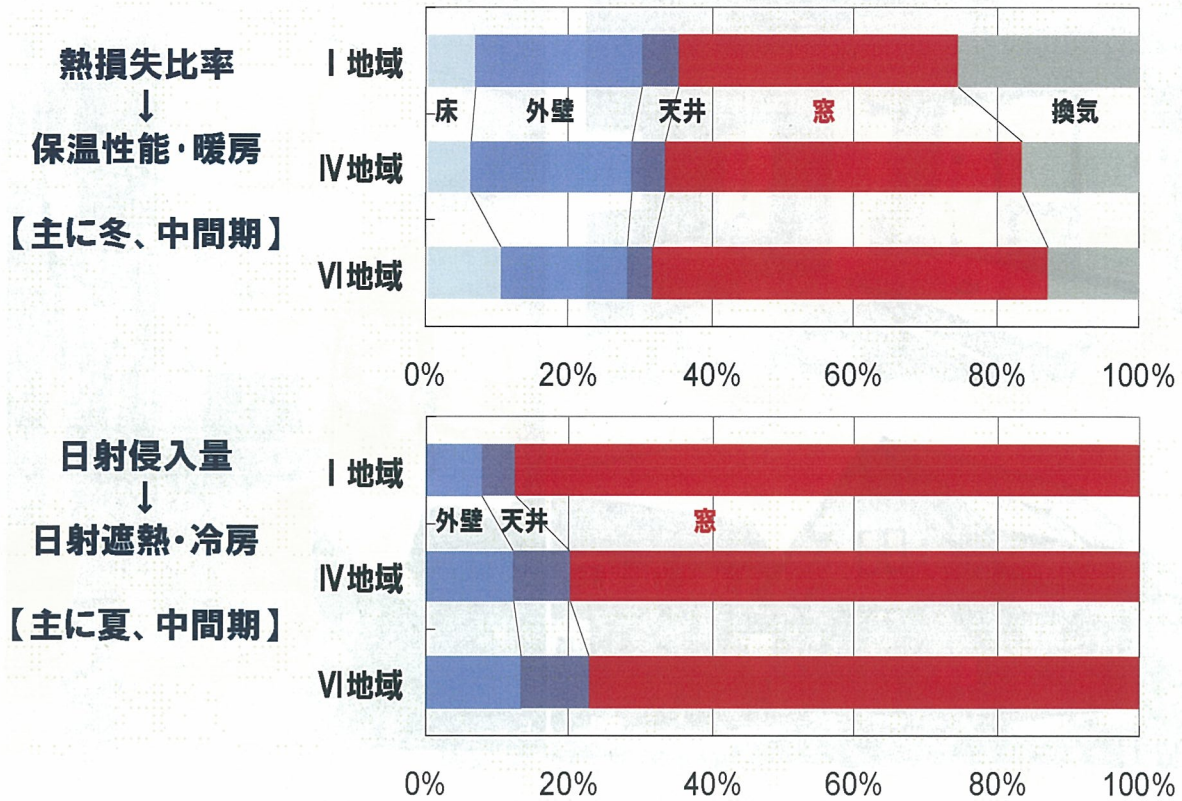
居室間欠運転で暖冷房する場合の年間エネルギー消費量推定値
(自立循環型住宅への設計ガイドラインに基づく)



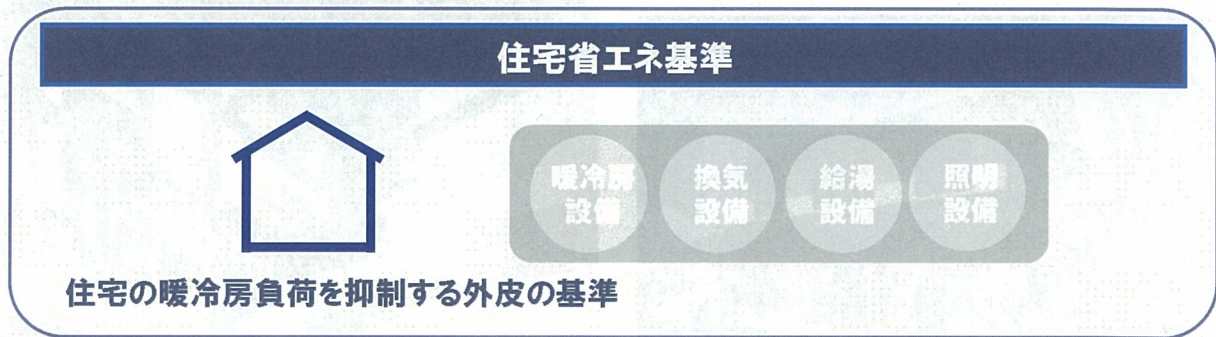
図の作成: 建築研究所澤地氏

蒸暑地のすまいの省エネは、まず、「冷房」と「給湯」の省エネから

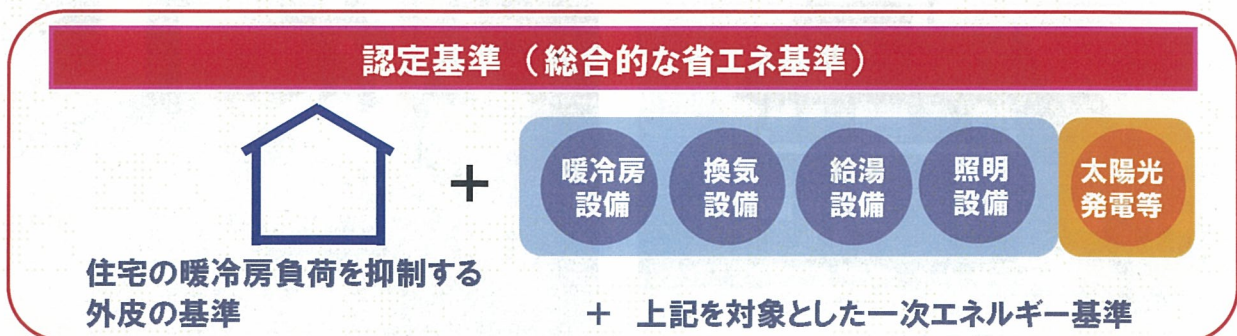
夏季の冷房エネルギー削減と快適性向上には 窓・外壁・屋根(天井)の遮熱強化が重要



現行の住宅省エネ基準 と「これからの省エネ基準」



住宅省エネ基準を満たす外皮に標準的
設備機器を設置する住宅と比べて
運用エネルギーを-10%削減



寒冷地の住宅（北海道）の例



温暖地の和風住宅（関東）の例



群馬県高崎市 (株)アライ

